

おしやりん 7月 発行

◎特集

車いすでパラグライダー体験！ 2p

全国石川大会で「ピアサポートシステム」初披露 3p

会員さんお宅訪問記 上里 一之さん 4p

会員投稿 車椅子利用者の居住サポートの難しさ！ 5p

調べてみました 噂の「UDタクシー」利用してみました 6p

バンパノークス Medical Harb Cafe+ 7p
惜しくも準優勝 SEASIRS団体予選結果 8p

青い鳥ハガキお礼 8p

お知らせ ゆいまーる基金感謝状 8p

新リーフレット完成しました！ 8p

編集後記 8p



Let's
Challenge!

車いすでパラグライダー体験!



7月16日(月)は、中城村でパラグライダー体験をしました。前は、天気の影響で延期になり今回やっと飛ぶことが出来ました。ずっと楽しみだけで待ってましたが、当日になると緊張しすぎて、飛び上がる瞬間はあまり覚えてません(笑)約150メートルの高さまで上がり、そこから見る景色は最高でした。海はとても綺麗で、建物や車などは小さくてかわいく見えました。

また飛行機とは違って、体で風を感じることを出来た事が一番良かったと思います。飛び終わった後は、時間が足りなくまた乗りたいと思いました。

ブルースカイのスタッフの皆さんは、とても親切で、車椅子対応も慣れてるので、かなり安心感があった飛べました。ありがとうございます。次乗る機会があったときは、また宜しくお願いします。

(田島)



2018海の日、念願のパラグライダーを体験してきました! 天気にも恵まれ晴れ間の中、遊覧飛行することができました。

道中はワクワク感だけでしたが、注意事項を聞きながら飛ぶ準備をするためハーネスを装着していると、だんだん緊張感が出てきました。

いよいよ私が飛ぶ順番になり、パイロットと私に装着したハーネスを繋いだら心の準備をする間もなくふわりと一気に空まで上がっていきました。飛んだ直後は、初めての感覚に感動して放心状態でした。

慣れて来て周りを見渡してみると、キラキラした海とミニチュアのように小さく見える建物と人、非日常な感覚を体感することができました。

ブルースカイのみなさんのご協力で最高の時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

(又吉@障がい者ITサポートおきなわ)



BLUE SKY OKINAWA

料金 3~6才 8,000円(税込)
7才以上 10,000円(税込)

時間 10:00-12:00
13:00-15:00

電話 098-942-3600

住所 〒901-2401
沖縄県中城村久場1943番地

全国石川大会で「ピアサポートシステム」初披露



6月11日に、仲根理事長と第17回定時総会石川県大会に行ってきました。会場は石川県の金沢駅のすぐ隣にある「石川県立音楽堂交流ホール」地下でした。空港は、幸い小松への直行便があったので乗り継ぎの苦勞はせずに助かりましたが、小松空港から金沢駅までの公共交通が車いすに対応しておらず、福祉タクシーを利用するしかありませんでした。このことに関しては石川県支部も行政などにアクションを起こしているようですが、なかなか改善までいかず、苦勞しているとのことでした。ともあれ会場と宿泊場所は近い距離で移動に困ることもなく、また、ちょうど季節的にととても涼しい時期だったので大会中は快適に過ごせました。

総会の内容についてはいつも通り各支部の報告等

ありましたが、今回、私が同行した最大の目的は、各支部役員に向けての「ピアサポートシステム」の初披露でした。

「ピアサポートシステム」とは、各支部が記録に長年苦勞しているピアサポートの相談記録をシステム化したものです。相談内容を統一した規格でインターネット上に保存し、将来統計データも取れることを目指した仕組みがやっと完成しました。今後は年度内でこのシステムの操作説明のため、各ブロックを廻る予定になっています。すでにこの定時総会の翌週に富山に渡り、北陸ブロックの役員へ向けて初の説明会を行いました。ピアサポートの記録が少しでも楽になればと思います。(砂川)



からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



代表 林 秀一

TEL: 098-867-0006

FAX: 098-867-0008

〒900-0004

那覇市銘苅2-11-19

グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



フリーダイヤル

0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com

HP http://www.ryukyu-chiryoin.com/

交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など



会員さん
お宅訪問記

うえざと かずゆき

上里 一之さん

最近、会員の上里一之さん（首下完全麻痺・全介助）が実家を住みやすいようにリフォームしたというので、さっそくお邪魔してお話を伺いました。



ーリフォームの理由は？

自室がとても狭く、ヘルパーさんたちの作業に支障を来していました。また「親亡き後の生活」を考えて生活空間を新たに作り直すことで、家族との世帯分離をいっそう進めていこうと思ったからです。

ーリフォームして良かったことは？

リフォーム内容は、自室とは別の畳部屋を壊し、そこを生活スペースにしました。部屋をかえ、向きも変わったので、これまで何十年も見ていた同じ眺めも変わり、とても気持ちがいいです。部屋の広さもヘルパーさんが二人体制でも十分な広さで、体への負担も減ったと思います。

これまではトイレなどの生活スペースを家族と共有していましたが、専用のトイレ・キッチン・浴室を設けたので世帯分離ができました。家賃や光熱費などが分かりやすくなるメリットも生まれました。

ーリフォーム後に持ち上がった課題は？

生活スペースが分かると、家族と離れてしまった感じがして少し寂しくなりました。最初の頃は、スマホのSiri（シリ。人間が発した質問に対して音声で返答するシステム）に「おやすみなさい。」と話しかけて「良い夢を見てくださいね。」と返ってくる音声に安心したこともあります。

また、これまでは発熱や尿管理などのトラブル時に「環境制御装置（呼気式のスイッチ）」を使って訪問看護ステーションなどへの緊急連絡を自分で行うようにしていましたが外してしまったため、緊急時の連絡が不安です。現在はSiriを使って音声で電話をかける練習をしたり、就寝直前に来てもらえ

るヘルパーを新たに利用して対応しています。

ーリフォームで苦労したことは？

やはり金銭面です。残念ながら住宅改修の補助金は該当しませんでした。改修業者はバリアフリーのことがしっかりしているところを選んだり、増築や場所を2階にする可能性などをたくさん考え、どの程度までリフォームするのかかなり悩みました。

ーリフォームで工夫したことは？

自分が一人暮らしをするイメージでキッチンまで作りました。現在は食事もすべて家事援助でヘルパーさんが入っています。浴室はトイレと一体化してスペースを広くしました。当初は大きな洗面台を取り付ける予定になっていましたが、よく考えると自分は使わないことに気が付いたので小さな洗面台になり、結果的に風呂場も広がって助かりました。

ー皆さんに伝えたいことはありますか？

改造はホントにお金がかかるので、しっかり準備を行うことが大事です。自分の場合は仕事していて



収入があるので、借入返済のイメージができました。

今は快適にユンタクできる広い部屋になりましたので、ぜひ遊びに来てくださいね！

（砂川）



会員投稿

車椅子利用者の 居住サポートの難しさ！



大城昌彦さん

頸髄損傷のM氏から依頼を受け住居探しスタート、本人の希望は浦添市内で2DKか2LDK、バリアフリー、家賃5万円ぐらいで駐車場付き。この条件はかなり厳しい……。

家賃5万円で完全なバリアフリー住居など浦添市内にはまず無いに等しい。分かってはいるけど本人の希望に沿うよう先ずはネットで「うちなーらいふ」という不動産検索サイトでエリアやこだわり条件などを絞りこんで検索、無い……。

まずこだわり条件でバリアフリーという言葉さえ出てこない。同時に、これまで車椅子利用者に物件を紹介した実績がある不動産会社2社にも電話で協力を依頼し、良さそうな物件があれば紹介してもらうことにした。

週に3回ほど時間があればネットで検索するもやはり中々ヒットしない。外出したついでに不動産会社の入居者募集の看板を見つけては車を止め確認する日々が続いた。

そうこうしているうちに浦添市の障がい者等居住サポート事業への申請を検討、居住サポート事業は具体的に、借家探し、家賃保証（保証人がいない人）、居住継続支援（病気やトラブルなどの電話相談に24時間対応。）などを行う事業で内容的にも良い、さっそく本人と共に浦添市役所へ出向き申請、一通りの条件などを提示し、後日この事業の委託先である不動産会社レキオスの担当者と連絡をとり面談した。

レキオスへ依頼したこともあり、一時的にネット検索をやめレキオスからの連絡を待ってみた。プロに依頼したこともあり少し安心してはいたが1カ月以上たっても連絡がこない。中々厳しいかなと思ひ希望の条件を緩め同時進行でこちらでも探すことにした。

まず、エリアを浦添市内から那覇市や宜野湾市の浦添市寄りの地域まで拡大し少し工夫すればどうか生活できそうなところまで広げていった。

アパートの1階部分だけではなく2階以上でエレベーターを利用することも含め探し始めた。ネット

上で写真や動画を見る範囲では何とか行けそうな物件はいくつかヒットし実際に見に行ってみると玄関や屋内は工夫次第で何とかある物件はあることはあったものの、駐車場がなかったり駐車スペースが狭かったりで最低限の条件にも合わないことが多かった。

その前に、本人の身体の状態や日常生活動作の詳細がはっきりとは分からず、自分に置き換え自分ならここを工夫すれば何とかなる程度で、実際には細かいところまでは分からない。つくづく他の人の住居探しの難しさを痛感した。

そうこうしているうちに、那覇市の真嘉比にトイレや風呂場、玄関など完全ではないもののバリアフリーな1ルーム物件が2部屋空いているという情報があり本人と共に見学した。この物件にはすでに頸損の会員が入居しており、空いている部屋と頸損の会員が入っている部屋両方を見せてもらった。

1ルームなのでかなり狭いイメージではあったものの家賃は駐車料金や共益費など含めても条件どおり、更にインターネット使い放題、自分的には良かったものの借りるのは本人。しばらく検討してもらうしかない。

数日後、本人から1階部分に入居を希望しよう一度見に行きたいとの連絡があり改めて見学、窓のサイズやベランダの段差、電化製品の置く場所などをチェックした。

本格的に借りることにし口頭で担当者に伝えたつもりが上手く伝わらず多少の行き違いはあったものの、当初予定の部屋とは別の1階部分の部屋が偶然にもすぐに空いたのでその入居希望をしっかりと伝え、すぐに契約を結んだ。

部屋が狭いので電化製品や他の生活用品はできるだけ少なくし、多少の工夫は必要ですが狭いながらも現在は快適に生活している。

(大城昌彦)





「UDタクシー」を利用して みました。

2020年オリ・パラに向けて国土交通省が推進しているUD(ユニバーサルデザイン)タクシーで2万8千台導入を目標にしています。特に普及されているのが、トヨタのJAPANタクシーといって、タクシーに特化したワゴン型車両でイギリスのロンドンタクシーに似ています。

沖縄県でも導入が進んできていて今年5月末で140台稼働しているようで、今後も増加する見込みです。しかし、色々課題もあるとのことでしたので、使い心地を取材してみました。

早速、導入しているタクシー会社はどこだろうかとインターネットで検索しても出てきません。

導入していてもUDタクシーとはホームページでは公開していないようです。そこで、沖縄総合事務局運輸部に問い合わせして導入済みの会社情報を確認した上で、取材依頼と併せて問い合わせすると「取材は難しい」

「対応できる職員のシフト調整が難しい」

多くの会社が車いす利用者の予約に躊躇しているようで、通常の配車予約が初日はできませんでした。

翌日、丸星タクシーさんに配車予約すると、戸惑いながら(丸星タクシーでは初の車いすお客さん)も丁寧に対応していただきました。

「車いす対応にセッティングするのに20分はかかるので、前もって準備するためにタクシー駐車できるスペースはありますか?」とのことだったので、その日が雨天だったこともあり、屋根下の駐車スペースに停めていただいて(なんと30分前に到着!)セッティング開始。



助手席格納やスロープ設置等の乗車前で約8分。乗車後の車いす固定等で8分と併せて16分。運転手さん「会社で研修した時の車いすの形状と違い、フレームが少ないのでロックする際に戸惑った以外は、想定していたよりもスムーズに準備出来た」との事でした。慣れれば3分ほどは縮小できそうです。車中での運転手さんとの会話

「電動車いすだと乗車は無理だと思います」

「流して車いすの方に手を挙げられたら路駐15分は厳しい」

「積極的に車いすのお客さんを受けるのは難しいように思う」

時間がかかれば売りに上げに直結するので、率直な意見。全国的にもUDタクシー(トヨタのJAPANタクシー)の乗車セッティング時間がかかりすぎること、電動車いす利用が難しいという問題に改善要求があります。改善に向けて今回の体験を活かせるようにしたいと思います。



それでも、車いすユーザーが流しでタクシー利用できるなんて、凄いことです!

時代が「共生社会」に動いていることを強く感じる体験取材でした。

※追記

丸星タクシーさんはタブレットでのクレジット決済を導入していました。

タブレットにサイン初体験もしました。ITが進んでるー\(^o^)/☆

(仲根建作)



Medical Herb Cafe⁺



今回お邪魔したのは、那覇市おもろまちにある「メディカルハーブカフェ」。琉球治療院さんが運営している、本格薬膳カフェです。

入口も、少し急ですがスロープになっており、店内も広々。もちろん、車いす用トイレもあります。

店内に入ってまず目に飛び込んだのは、カウンター越しに並ぶ、沢山のハーブを入れた瓶。まるで漢方薬を処方してもらおうお店のようです。

気になるメニューは、カレーやチキン、ポークなど思ったよりもがっつりとしたお食事。しかし内容は、たくさんのお野菜を使った色とりどりのサラダと21種類の雑穀を混ぜ込んだお米など、食べ応えもありながら、栄養バランスもしっかりしています。

お食事もさながら、女性に欠かせないのはスイー

ツ。パンプキン

プリンや、ジンジャークッ

キーなど、体にやさしいもの尽くしです。

女子会にぴったりなおしゃれな空間と居心地。今なら会員登録をすると、お会計から30%オフです！ぜひ、足を運んでみてください。

(奥浜@障がい者ITサポートおきなわ)



Medical Harb Cafe

住所 〒900-0003

那覇市安謝 1-2-5

電話 098-863-0201

時間 10:00 ~ 19:00



R.C.Y. Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28

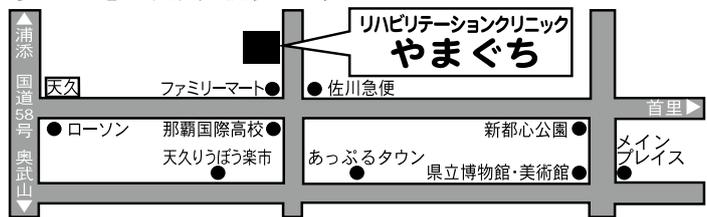
TEL098-864-1100

診療スタッフ

院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
	▶身体能力訓練
	▶言語訓練
	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練
診療時間	月 火 水 木 金 土
午前 9:00~11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00~ 6:00	○ ○ ○ / ○ ○ /

安らぎ・癒し・元気を提供します。



ちはる歯科クリニック

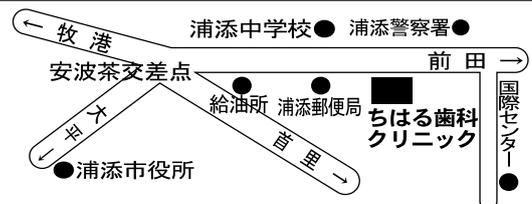
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

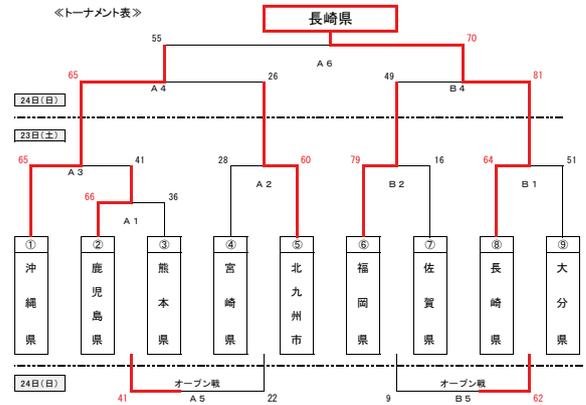
惜しくも準優勝 SEASIRS 国体予選結果

去った6月23、24日大分市において第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」車いすバスケットボール競技九州ブロック予選大会が開催され、沖縄県を代表してSEASIRSが参加してきました。

昨年に続き優勝を勝ち取って「福井しあわせ元気大会」へ参加する意気込みで決勝戦までは順当に勝ち進みましたが、決勝戦で長崎県と戦い55vs70と及びませんでした。

長崎県は東京パラ強化選手を中心にチームを組立てバランスの取れたチームでした、それに対してSEASIRSは立上りの悪さが最後までひびき挽回する事ができませんでした。

次年度に向けてチームをしっかりと作り直していきたいと思います。(SEASIRS 神里)



お知らせ

青い鳥 ハガキお礼

青い鳥郵便葉書のご提供をお願いしたところ、なんと13名の方から寄付がありました。この葉書は参加確認の返信用など、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



ゆいまーる基金 感謝状

ゆいまーる基金 沖脊協は、(株)サンシャインによる社会貢献事業「サンシャインゆいまーる基金」から、これまで309,000円もの多額の支援金をいただいています。

感謝の意をとして(公社)全国脊髄損傷者連合会代表理事から感謝状を受け、大得薫代表取締役にお渡しさせていただきました。

ありがとうございました。



新リーフレット 完成しました!

沖脊協のリーフレットが新しくなりました!

作成は、ITサポートおきなわです。表紙に写っている沖脊協会員の「木村茜(きむらあかね)」さんは、脊髄損傷者ではありますが、ソーシャルワーカーとしても活動している女性です。

車椅子になっても、明るく、楽しい生活を、たくさんの人たちに広めていけたらなと、あらためて感じました。



編集後記

今月は週末に台風が来たためパラグライダーも一度延期になり、しゃりんの表紙を飾ることができるか不安でした。なんとかギリギリまで粘り空を飛んでいる姿を写真に撮ることが出来ました。(又吉@障がい者ITサポートおきなわ)